

# イベント情報

## 蝶の舞うやさしい ガーデニングスクール

### 生態観察施設完成記念事業

開催日時 6月17日(日)  
午前9時から午後4時まで

開催場所 オオムラサキ自然公園

内容 草花の寄せ植え教室  
午前9時~12時

### ガーデンポールの作り方

午後1時~4時

費用 材料費実費  
草花の寄せ植え教室  
2,000円  
ガーデンポールの作り方  
2,500円

持ちもの 軍手、移植ごて  
小雨決行

事前申込み必要

## 棚田に花を咲かせましょう

### 生態観察施設完成記念事業

土といきものの里 日野春農村公園の棚田に  
花の種をまきます。ぜひ、ご参加ください。

開催日時 6月3日(日)  
午前10時から12時まで

定員 30名

開催場所 土といきものの里 日野春農村公園の棚田  
(オオムラサキ自然公園隣接)

持ちもの 軍手、長靴  
服装 汚れても良い服装、

雨天中止

## 幼虫くん、何 たべてるの？

### 生態観察施設完成記念事業

### オオムラサキの観察3

オオムラサキは、何を食べているか知っている？植物の観察をしながら チョウの食草、食樹を探してみよう。

(1年を通して季節ごとのオオムラサキを観察し、自分の観察記録ノートを作ろう。)

開催日時 6月17日(日)  
午前10時から12時まで

定員 15名

開催場所 オオムラサキ自然公園

講師 板山 武人

(自然観察指導員、長坂町植物同好会会員)

服装 汚れても良い服装、

持ちもの 鉛筆、メモ、植物の図鑑

小雨決行

## ボランティアの日

オオムラサキセンターのお手伝いをして下さい。

開催日時 6月9日(土)  
午前10時から12時まで

開催場所 オオムラサキ自然公園  
内容 随時内容が変わります  
(草刈り、笹刈り、川のゴミ拾い等)

主催 オオムラサキセンター

服装 作業のできる服装、軍手

## 第3回 身近な自然の お便りコンクール作品募集

### 生態観察施設完成記念事業

身近な自然(草花、虫、風景)を葉書に描いて  
オオムラサキセンターまでお送りください。  
作品はオオムラサキセンターに展示します。

締め切り 7月10日

応募方法 葉書の表側に住所、氏名、年齢を記入  
作品はお返ししません

## お問い合わせ・お申込は

〒408-0022  
山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地  
長坂町オオムラサキセンター  
TEL&Fax 0551-32-6648  
URL <http://www.yatsu.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

# オオムラサキ通信

ハンショウヅル



発行：平成13年5月30日

編集：長坂町オオムラサキセンター

〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地

TEL&Fax 0551-32-6648

No.37

# オオムラサキセンターに ビバリウム完成

オオムラサキ生態観察施設が完成しました。

オオムラサキセンターの南側に建設していた生態観察施設が完成し、完成記念式典が6月22日(金)午前10時20分~11時まで行なわれます。式典の中で、町内の小学6年生約100名が施設の中のエノキにオオムラサキの幼虫を放します。この幼虫が、元気にはばたけるようにみんなで応援して下さい。

この施設は鉄骨に網をかぶせたもので広さは1400平米あります。この中には、オオムラサキの幼虫が葉を食べるエノキや樹液のでるクヌギを植え込んで、オオムラサキが繁殖できる環境を維持していきます。この他に、長坂町に生育している野草や低木を植え込み、長坂の里山をイメージした風景を再現して、そこに生息するチョウなどの昆虫類も自然状態で観察できるようになります。この施設はオオムラサキセンターで自然について学習した後に、生きた生物に触れながら、生物のそれぞれの状態や住んでいる環境を体験学習することができるビバリウム(自然の生息状態にした動物の飼育施設)を目指しています。

## オオムラサキ最新情報

今、オオムラサキの幼虫は、日に照らされて青々としたエノキの葉を一生懸命食べています。この時期は(個体差があるので)4齢幼虫から6齢幼虫までを観察することができます。

先日、5齢幼虫から6齢幼虫に脱皮するところを運良く観察することができました。頭を背中側に折り曲げ、体液を順々に送り、皮をお尻のほうに送ります。そして最後に角の着いた顔の部分を葉にこすり付けて落とします。

一生懸命、頑張っている姿を見て、手を握りしめて応援してしまいました。

この時期の幼虫は体が大きく、表皮が薄いので背中にある心臓(真中を走っている黒い筋)が血液をお尻から頭の方へドクドク送り込む様子を見ることができます。オオムラサキセンターでは、この様子を150インチハイビジョンスクリーンに映し出して来館者が観察できるようにしています。希望者は受付まで申し込んでください。今年も例年どおり、6月下旬から羽化が始まりそうです。ぜひ、いらしてご覧下さい。



オオムラサキの5齢幼虫と6齢幼虫  
どっちがどっち?  
分かるかな?

# オオムラサキ自然公園の様子

緑が本当に美しい季節となりました。皆さんはどのように休日を過ごしていらっしゃいますか？この時期は散歩が一番だと私は思います。緑がきれいですし、力のようなさす虫が少ないですし、気温もちょうどよいのです。皆さんもオオムラサキ自然公園を歩いてみませんか？それでは、初夏のオオムラサキ自然公園を紹介します。

## <活発に活動する昆虫たち>

ハルゼミが気温が高くなってくるとよく鳴いています。

オトシブミの季節です。葉をきれいに巻いています。

5月25日、エノキの葉にテングチョウがさなぎを作りました。30日羽化しました。

コムシジガ水辺近くの歩道を道案内してくれているかのように足元で飛んでいます。

ヒトリガの幼虫があらこちらで木の枝や歩道をもそもそ歩いています。

## <今咲いている草木の花>

ハコウツギ、ニセアカシア、ツツジ、コゴメウツギ、アイリス、キショウブ、ヒメジオン、マムシグサ、ヤマブキソウ、ハコベ、クサノオウ、キツネノボタン、ナデシコ、クリンソウ、ガマズミ、ムラサキケマン

シロツメクサ、アカツメクサ、スイカズラ

## <実のなっている草木>

ウメ、クワ、サンショ、ヘビイチゴ



キショウブ



アカスジキンカメムシの幼虫

## 水の中の 生き物たちは？

### 水生昆虫観察会実施報告

5月6日（日）オオムラサキ自然公園内の2つの池と白井沢宮川にどんな生き物がいるのか、山梨県淡水魚研究会の窪田茂さんの指導を受けながら観察しました。

白井沢宮川からはサワガニやカゲロウ等のきれいな水にすむ幼虫が沢山見つけられ、サホコカゲロウ等のきたない水にすむ生物は少ない結果がでて、少しづつ水がきれいになっていくことがわかりました。

## ありがとうございます。

### 「ボランティアの日」実施報告

5月12日（土）日野春郵便局のみなさんと甲府市から駆けつけてくださいました児玉さん一家の協力により、オオムラサキ自然公園に隣接する「日野春農村公園」の水路にキショウブを植え込みました。また、漏水を防ぐため川底はコンクリートにしましたが、蛍の幼虫の餌になるカワニナが繁殖しやすいように石灰石の碎石を敷きつめました。このことにより流れが緩やかになり川底に泥がたまるようになって蛍や水生生物が住むようになります。既に川トンボ類が集まりはじめています。炎天下でみなさん汗まみれになりながら、頑張ってくださいました。この他4月14日には、富岡在住の橋本肇さん、真理子さんご夫妻が芝の草取りに駆けつけてくださいました。有難うございました。オオムラサキセンターでは、毎月第2土曜日を「ボランティアの日」にして、お手伝いくださる方のお来しをお待ちしています。



水車小屋の近くで作業しました。暑い中、ありがとうございました。



## 里山の鳥とオオムラサキは？



まず、よく耳を澄まして聞くことができるように川底の音を竹筒で聞いてみました。

5月27日（日）オオムラサキ自然公園においてNACS-J自然観察指導員の伏見勝さんを講師に招き、里山の鳥たちとオオムラサキの関係を考えながら、野鳥の観察を行いました。小雨がぱらついたために、なかなか鳥たちが活動せず、声を頼りに鳥たちを探しました。9種類の鳥が観察できましたが、もう少し近くで観察できたらなという気持ちが残りました。お天気次第なので仕方ありませんが・・・。

オオムラサキにとって鳥は天敵ですが、では鳥はいないほうがよいのでしょうか？違いますよね。みんなの生き物も微妙なバランスで生きているのですからどの命も大切です。オオムラサキも鳥も里山の中で一生懸命生きていました。